札幌医科大学

札幌医科大学 創基80周年（開学75周年）記念事業

創基80周年という節目に、今後のさらなる発展への決意を新たにするために、様々な記念事業を実施いたします。

札幌医科大学 創基80周年（開学75周年）記念
講演会・シンポジウム 主催／札幌医科大学 **6/28（土）**

●記念講演（一般の方はオンラインで視聴できます） 14:30～15:15

「トップスポーツを支える医科学の現状と課題
―札幌医科大学スポーツ医学講座開設に寄せて―」

筑波大学体育系 教授
ソウル元編女子柔道測メダリスト（講道館女子7段）
山口 香 氏

2021年まで日本オリンピック委員会理事を10年間務める。現在は、筑波大学で教鞭をとる傍ら、日本サッカー協会客員理事、企業の特部取締役など、スポーツの普及発展、教育、多様性の推進等に努めている。

●シンポジウム（一般の方はオンラインで視聴できます） 15:15～17:20

シンポジウムテーマ「世界に羽ばたく札医のつばさ」

講演「医療従事者の仕事を変える新たな潮流：変化する医療環境とキャリアの未来」
米国 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 教授
長尾 正人 氏（札幌医科大学医学部1982年卒）

講演「黎明期から成熟期に至る移植医療を現場最前線での経験から」
米国 南カリフォルニア大学 教授
岩城 裕一 氏（札幌医科大学医学部1975年卒）

講演「"世界一幸せな国"から考える看護の創造性」
ワイクランド タンペレ大学 博士課程
久末 智実 氏（札幌医科大学衛生短期大学部 看護学科1995年卒）

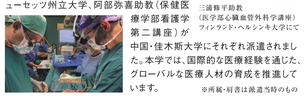
記念講演・シンポジウムのYouTubeライブ視聴申し込みフォーム
6月28日(土)14:30～17:20配信（予定） オンライン視聴のお申し込みはこちら▶

札幌医科大学創基80周年記念事業へのご寄附のお願い 詳しくはこちらもご覧ください▶

国際交流の推進

札幌医科大学では、フィンランド、カナダ、中国、アメリカ、韓国の大学と交流協定を結び、積極的に交流を進めています。令和6年は、赤塚正幸助教（医学部集中治療医学）が韓国・高麗大学、三浦修平助教（医学部心臓血管外科学講座）がフィンランド・ヘルシンキ大学、水野浩利助教（医学部救急医学講座）が米国・マサチューセッツ州立大学、阿部弥喜助教（保健医療学部看護学第二講座）が中国・佳木斯大学にそれぞれ派遣されました。本学では、国際的な医療経験を通じた、グローバルな医療人材の育成を推進しています。

三浦修平助教（医学部心臓血管外科学講座）フィンランド・ヘルシンキ大学にて



※所属・肩書は派遣当時のものです

中嶋 創基80周年おめでとうございます。私が通っていた頃とはキャンパスも施設もきれいで変わってこなおおしゃれなラウンジスペースもでてきてびっくりです。過去の皆さんがうらやましいです。過去の講演会やイベントなどで在学生と交流を持つ機会があればいいなと思っていたりしてみんなしらきらきと輝いていて新しい力が湧いていると感じます。

山下 札幌医科大学は、1945年設立の北海道立女子医学専門学校を前身として、50年に戦後初の新制医科大学として開学しましたこれまで、医学部は約6300名の卒業生を輩出し、それぞれが道内各地はもとより全国で、世界を舞台に医療活動や教育・保健行政などの分野で大いに活躍しています。2022年に、約10年間にわたるキャンパス・施設整備が完成し、創造的で開放的で、学生も職員もより過ごしやすい環境と生涯学び続ける研究・教育・保健行政などの分野で大いに活躍しています。

中嶋 今年4月、札幌医科大の基礎研究が新たな乳がんの治療薬の開発・実用化につながったと発表されました。卒業生として、札幌医科大学が推進する先進医療が社会実装され、患者さんの救済と貢献できるのは非常にうれしく思います。その他、どこでどんな研究や実践、取り組みに力をそそいでいますか。

山下 本学は以前からスポーツ医学が盛んで、附属病院のスポーツ医学センターは1994年にトップアスリートの診療にあたり、オリンピックなど国際大会における日本選手の医学サポートに活躍しています。2023年には全国の立命大学などとの初めてとなる「スポーツ医学学部」を医学部に新設しました。また、本学は日本初の「脊髄損傷センター」を開設しました。

山下 山下理事長学長の専門である脊髄損傷の再生医療分野でも注目されていますね。

山下 本学が大阪の総合医療メーカーと共同で開発した「世界初の脊髄損傷の再生医療治療薬が2018年6月に「製造販売承認条件期限付き承認」を得てから約4年半がたちました。この間、現在、国内で唯一の臨床試験を全国に広がり、多くの患者さんの救済と状態や手足のまひなどが改善しています。

これからも北海道で医療の変革を起こしていくような先進的な取組みを続けて、がんや神経疾患など難治性の病気で悩む多くの患者さんに届けていくことも私たちの使命だと考えています。

中嶋 素晴らしいです。今後も臨床の魅力・情熱となるような新たな教育・研究・開発の試みを通じ、先進的な医学・治療の社会実装をさらに加速してほしいと思います。

山下 本学の建学の精神は、「温厚の精神と自由闊達な気風」です。先進的な基礎的臨床的研究を強力に推進し、その成果を地域医療に還元していく役割を担っています。

本学からは年間約600名以上の医師を道内地域に派遣しています。

中嶋 地域医療に貢献している医師が、オンライン診療も進めて地域との距離感を縮めていきたいです。ICTを使った病院間の連携も重要です。「オンライン」で結ぶ遠隔医療の普及で、スマイル瀬木を活用した地域住民の健康管理システムの開発にも取り組んでいます。「医療におけるDXデジタル」を進め道内2隅々まで高度な医療が行き渡る体制を構築していきたいです。

中嶋先生はこれからどんな活動をしていくのですか。

中嶋 MSFは日本の会長に就任した今、最も力を入れていることは、日本の貢献度や発信力を高めることです。日本が世界の中で貢献できるポテンシャルは非常に高いと感じています。例えば、現地の国際情勢の中で、日本はその高い信頼度を活かせるかもしれません。本当に、それ以上の医療経験が待っていますよ。そして、それを感謝してくれる人がいます。進取の精神と自由闊達な気風でのびのびとニッチある新医師になって国れたと思います。

山下理事長、学長からも後の抱負を聞かせてください。

山下 これからの10年、さらにその先に向けての本学のあるべき姿や目指すべき目標を、広く学内外に示すビジョンとして「札幌医科大学 Vision for the Next Decade」を策定しました。「北の大地に根差し世界に羽ばたく」をコンセプトに、5つの社会で求められる資質は「情熱」に断力・語学力・体力・免疫力などいろいろあると言いますが、間違いなくそのベースは「純・感力」です。周囲からの信頼・期待を受けて、自らを信じて歩み続け、周囲の空気に感わされない純粋さがあればキャリアをのびのびと楽しく切り開いていくことができるのではないでしょうか。

「KEY＝キ」として、「機動力」「基盤」「希望」「気持ち」「料」を掲げています。本学のHPにも掲載しますので、多くの皆さんにご覧いただきたいと思っています。本学で学ぶ者たちが、中嶋先生のように世界へ向けて飛躍できるように、そして、国境なき道を切り拓いていく強さや優しさを身につけられるように、本ビジョンが役立つことを願っています。創基80周年を通過して、最高レベルの教育・診療・研究を推進していきます。

本日はどうもありがとうございました。

■山下 敏彦（やました・としひこ）氏
砂川市出身。1983年札幌医科大学医学部卒業、87年同大大学院修了。米国ウェイン州立大学博士研究員、札幌医科大学整形外科学講座助教授などを経て、2002年同講座教授。同大学附属病院手術部長、副院長を歴任した後、14年病院長、18年同大学国際交流部長22年4月から現職。専門は脊椎骨髄外科、脊髄損傷患者に対する自己骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による神経再生治療などを研究している。

札幌医科大学 創基80周年記念

（開学75周年）

スペシャルトークセッション

北海道から
世界に羽ばたき、
人々の命と笑顔を
守り抜く。

山下 敏彦 氏
札幌医科大学 理事長・学長

×

中嶋 優子 氏
国境なき医師団日本 会長
米国 エモリー大学救急部 准教授

札幌医科大学創基80周年（開学75周年）を記念して、国境なき医師団日本の会長で、同大の卒業生でもある中嶋優子氏と、同大の山下敏彦医療事長・学長が、地域医療と国際医療の共通点や、今後の大学・医学・医療教育のあり方、同大の未来像などについて語り合いました。

山下 日経ウーマン誌のウーマンオブザイヤー2023の受賞おめでとうございます。本学を卒業した後、30代で渡米して専門性を高めた中嶋先生。活躍の場を世界に拡げ、発展のチームワークで過酷な環境にある人々に援助を届ける国境なき医師団（MSF）で活動する中嶋先生は、本学の在学生、卒業生、職員の誇りです。

中嶋 ありがとうございます。大変誉める言葉をもらってうれしいです。身が引き締まる思いです。

父の仕事の関係でアメリカで生まれ育ち、小5で帰国してからはこの学校を送っていました。そんな中、高2のある日テレビで偶然にMSFを知りました。さまざまな国から集まった医師たちが世界各地の紛争地・被災地、貧困地域などに医療を届けていない地域で活躍する姿に目を奪われました。「なんてかっこいいんだ、これをやりたい」と思ったのが医師を目指したきっかけです。でも、成績は医学部を目指すには到底おぼつかず、教師からも「なんなら絶対無理」とまでいわれました笑。確かにほとんど無理だったのです。絶対に「ではなぜだろう」と考え、気合にせず勉強を続けて医学部に合格できました。

山下 札幌医科大学ではどんな学びや思い出がありましたか。

中嶋 決して優秀な医学生とは言えなかったのは本音です笑。入学後はアイスホケー部中心になりました。男子アイスホケーチームに入部し、それ以外にも近隣の女子大学のアイスホッケー部と合伴協調性を持ちつつ自分自身の軸も保つ。そのなかで常により良いチームワークを追求する習慣が身に付いたように思います。多様なチーム全員で協力しお互いに尊重し合い目標を達成することの難しさや楽しさを学ぶ場をもって学びました。ここまでの自分を振り返ったとき、医師として人間として、自分の核となる部分の多くは、札幌での大学時代に培われたものだと感じます。

山下 大学生活は社会人になる前に視野を広げられる貴重な時期です。学生としての学業に加え、部・サークル活動や趣味を広げる時間を、学生のうちに、自分の中にこれだけは確かだという自信や誇りを見出し、自立して社会に巣立って行けるように導いていくことも大学、そして私たち教員の役割でもあるのだと思います。

中嶋先生の渡米、そしてMSF派遣の経緯も聞かせてください。

中嶋 幼少時から自分の英語力を他人のために使わないといけない気分しながら育った。在学中は漠然とアメリカに留学して医学を学べたら日本に持ち帰る使命があると感じていました。卒業後の初期研修先には、在学中に米国軍病院を選びました。ただ、ここでもアイスホケーに夢中になってしまい笑、アメリカ留学への準備を怠ってしまったんです。アイスホケーが本業の時期の浪人期を経て、浦添総合病院（沖縄）で都立墨東病院（東京）で麻酔科医として就職しました。ある日病院やっとアメリカの医師国家試験に合格できました。MSFに応募して登録されたのは2009年。応募2010年にイエメル大学病院で臨床研修することが決まりました。ちょうどMSFの医師を目指した原点のMSFのナイジェリアに行きました。

ナイジェリアでは、急性期の外傷患者さんを受け入れている重症外傷の患者さんが運び込まれるような重症外傷の患者さんが運び込まれて、毎日たくさんの手術の麻酔を担当しました。夜間や休日も呼ばれれば駆けつけても飛んでいく24時間無休のオンコール。

© MSF

■中嶋 優子（なかじま・ゆうこ）氏
東京都出身。2001年札幌医科大学医学部卒業。国内で麻酔科医として勤務後、米国イェール大学病院で救急研修医を修了。米国救急専門医、米国EMS専門医（日本人初）を取得し、現在は米国を拠点に活動する。09年に国境なき医師団に麻酔科医として登録し、10年4月～25年3月の間にナイジェリア、パキスタン、シリア、南スーダン、イエメン、イラク、パレスチナ・ガザ地区で医療援助に従事。22年3月国境なき医師団日本会長に就任。国境なき医師団での活動が高く評価され、各界で目覚ましい活躍を遂げた女性を表彰する日経ウーマン誌の「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2025」を受賞。
■国境なき医師団（MSF）
1971年にフランスで設立され、紛争や自然災害、貧困などにより危機に直面する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けている。99年には活動の実績が認められノーベル平和賞を受賞。

札幌医科大学創基80周年（開学75周年）記念事業

札幌医科大学80年の軌跡

札幌医科大学は、1945年に設立された北海道立女子医学専門学校を前身とする公立医療系総合大学です。1950年に戦後の新制医科大学の第一号「札幌医科大学」として開学しました。1993年には保健医療学部が開設され、現在の医学部と保健医療学部の2学部4学科となる北海道で唯一の公立医療系総合大学として発展してきました。

1945 北海道立女子医学専門学校開校
1950 札幌医科大学開学
1956 大学院医学研究科を開設
1972 第11回冬季オリンピック札幌大会に医師を派遣
札幌オリンピックのテーマ曲「虹と雪のバラード」を当時の整形外科学講座 河邨文一郎教授が作詞
1977 フィランドパウロ財団と本学初の大学交流協定締結
1983 札幌医科大学衛生短期大学部開校
附属病院整備第1期工事として、屋上にヘリポートを有する病棟及び中央診療棟竣工
1993 保健医療学部を開設、公立医療系総合大学へ
1998 大学院保健医療学研究科を開設
2002 北海道初・道内唯一の高度救命救急センター開設
2007 地方独立行政法人化し北海道公立大学法人札幌医科大学へ
2008 医療人育成センター開設
2019 脊髄損傷を対象とした再生医療製品が世界で初めて保険適用され実用化
2022 新キャンパス完成
2023 国公立大初の「スポーツ医学講座」開設
2023 厚生労働省より「がんゲノム医療拠点病院」に指定
2025 創基80周年（開学75周年）を迎える

近年のトピックス

近年のトピックス

1 世界初、脊髄損傷の再生医療
2018年12月、世界初となる脊髄損傷の治療に用いる再生医療等製品が厚生労働省に条件及び期限付承認を取得。2019年5月から再生医療等製品「ステミラック®注」として脊髄損傷に対する治療を開始。

2 基幹災害拠点病院としての対応
道内唯一の「基幹災害拠点病院」として、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震において「北海道DMAT活動本部」を立ち上げ、全道DMATの司令塔として、全道各地域で医療支援活動を展開。

3 新型コロナウイルスへの対応
感染症の流行初期から病院の総力を挙げて対応。のべ55,385件の検査や117名の重症人工呼吸器患者を治療するとともに、医療機関との連携システムを構築し、迅速な入院につなげた。（2020年-2023年実績）

4 未来医療の実現に向けて
2025年1月、北日本初となる甲状腺に対するロボット支援手術を実施するなど各診療科において最高水準の医療を維進。「医療DX」にも力を入れ、次世代スマート診療「ポータブルカルテ™」を国内で初めて運用開始。

企画制作／北海道新聞社営業局 広告

私たちは札幌医科大学とともに、北海道の医療に貢献しています。

社会医療法人 蘭友会 札幌里塚病院
理事長／猶田 文男 院長／河村 正朋
札幌市清田区美しが丘1条6丁目1-5 Tel 011-883-1200
https://www.satozuka.or.jp/

社会医療法人 札幌清田整形外科病院 Sapporo Kiyota Orthopaedic hospital
理事長／片平弦一郎（第28期卒業）
院長／小幡浩之（第39期卒業）

女性のための、心なとおしの母門医院 札幌フィメールクリニック Sapporo Female Clinic
院長 矢嶋彰子（平成8年卒業）
札幌市東区北21条東3丁目2番5号 Tel 011-733-1155
http://sapporo-fc.jp/

医療法人 苫小牧消化器外科
理事長・院長／宮本 茂樹
苫小牧市北栄町3丁目5-1 Tel 0144-51-6655
http://www.tgs-cl.jp/

医療法人社団 札幌道都病院 Sapporo Dotto Hospital Medical Corporation
理事長・院長／秦 史壮（第30期卒業）
札幌市東区北17条東14丁目3-2 Tel 011-731-1155
https://www.doto.org/

社会医療法人 札幌清田病院
理事長／西皇卓次（第24期卒業） 院長／山内高文（第30期卒業）
札幌市清田区真栄1条1丁目1-1 Tel 011-883-6111
https://www.kiyota-hp.or.jp/

医療法人社団 履信会 りしん会整形外科病院
理事長／井本 憲志
札幌市豊平区平岸6条9丁目3-33 Tel 011-818-8887
https://sapporo-rishinkai.com/

医療法人社団心優会 理事長／三輪 英則
留萌記念病院 野口病院
中江病院 沼崎病院

医療法人社団 土田病院 TSUCHIDA HOSPITAL
理事長／土田 茂（第40期卒業） 院長／佐々木 寿雯（第42期卒業）
札幌市中央区南21条西9丁目2-11 Tel 011-531-7013
https://tsuchida.or.jp/

医療法人藻友会 札幌いしやま病院
理事長／石山 元太郎
札幌市中央区南15条西10丁目4番1号 Tel 011-551-2241
https://www.ishiyama.or.jp/

社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
理事長／高田 竹人（第17期卒業）
病院長／中田 智明（第30期卒業）
函館市五稜郭町38-3 Tel 0138-51-2295
https://www.gobyou.com/

医療法人 王子総合病院
理事長／大岩 均（第30期卒業） 院長／岩井 和浩
苫小牧市若草町3丁目4-8 Tel 0144-32-8111
https://ojihosp.or.jp/

社会医療法人 製鉄記念室蘭病院
室蘭市知利別町1丁目45番地
Tel 0143-44-4650（代）

医療法人 東札幌病院
理事長／石谷 邦彦
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35 Tel 011-812-2311
https://www.hsh.or.jp/

医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
理事長／中川俊男 理事・院長／大道雅文
札幌市厚別区厚別中央1条6丁目2番10号 Tel 011-891-2500
https://www.snh.or.jp/

医療法人 札幌円山整形外科病院
理事長・院長／竹林 庸雄（第36期卒業）
札幌市中央区北7条西27丁目1番3号 Tel 011-612-1133
https://www.maruyama-seikeigeka.com

理事長・院長 高橋 祥（45期卒）
札幌市白石区南郷通1丁目南8-10 白石ガーデンプレイス 3F tel.011-862-8878
https://shiroishi-shokaki.jp/
医療法人社団千結会 さっぽろ白石内科消化器クリニック

医療法人社団三愛会 名寄三愛病院
院長／山岸 眞理
名寄市西1条北5丁目1-19 Tel 01654-3-3911
https://www.sanai-kai.or.jp/sanai-hp/index.html

医療法人 札幌ハートセンター
理事長／藤田 勉
札幌市東区北49条東16丁目8番1号 Tel 011-784-7847
https://scvc.jp/

医療法人社団秀仁会 内科消化器科 野尻クリニック
院長／野尻 秀一
室蘭市宮の森町4丁目12-18メディカルビル2階 Tel 0143-41-1551
https://nojiri-clinic.com/

医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院
理事長／本間 久登（第29期卒業）
札幌市南区川沿2条1丁目2番54号 Tel 011-571-8221
https://www.gorinbashi.or.jp/

社会医療法人三樹会 三樹会泌尿器科病院
理事長・院長／佐藤 嘉一（第33期卒業）
札幌市白石区東札幌2条3丁目6番10号 Tel 011-824-3131
https://www.sanjukai.or.jp/

新ひだか町立静内病院
院長／小松 幹志
新ひだか町静内緑町4丁目5-1 Tel 0146-42-0181
https://www.shinhidaka-hospital.jp/shizunai/

標茶町立病院
院長／佐藤 泰男
川上郡標茶町開運4丁目1番地 Tel 015-485-2135
https://shibecha-hospital.jp/

町立中標津病院
院長／久保 光司
標津郡中標津町西10条南9丁目1番地1 Tel 0153-72-8200
https://nakashibetsu-hospital.com/

社会医療法人 社団 カレス サッポロ カレス記念病院
理事長／大城 辰美 次席院長／藤井 美穂（第28期卒業）
札幌市東区北6条東3丁目1番地1 Tel 011-777-1011
https://caress-memorial.jp/

にしかわウイメンズヘルスクリニック
北海道産婦人科医会会長
理事長・院長 西川 稔
札幌市中央区南1条西14丁目291
Tel 011-213-1730
https://nishikawa-whc.com/

明珠会グループ 札幌白石産科婦人科病院
理事長／明石 英史
札幌市白石区東札幌5条6丁目6-2
Tel 011-862-7211
HP Instagram

こころ つなげる 輝く未来へ 医療介護ひかりグループ
医療法人 北光会 朝里中央病院
小樽市新光1丁目21番5号 （0134）54-6543

社会医療法人 医陽会 札幌白石記念病院
理事長／野中 雅 院長／道井洋史
札幌市白石区本通8丁目南1-10 Tel 011-863-5151
https://www.ssn-hp.jp/

町立別海病院
院長／西村 進
野付郡別海町別海西本町103番地9 Tel 0153-75-2311
https://betsukai.jp/

日本赤十字社 小清水赤十字病院
院長／伊藤 嘉行
斜里郡小清水町南町2丁目3番3号 Tel 0152-62-2121

社会医療法人 孝仁会 札幌第一病院
院長／嵐 方之
札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26 Tel 011-611-6201
http://www.sapporo-daiichi.com/

社会医療法人 康和会 札幌しらかば台病院
院長／後藤 啓
札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26 Tel 011-852-8866
http://www.kouwakai.or.jp

さっぽろ慈啓会グループ 慈啓会病院
院長／木村裕一（第35期卒業）
札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番50号 Tel 011-561-8292
https://www.sapporojikeikai.or.jp/facility/jikeikai/

社会医療法人 貞仁会 新札幌ひばりが丘病院
理事長 高橋 大賀（第46期卒業）
札幌市厚別区厚別中央3条2丁目12-1 Tel 011-894-7070
https://www.shin-hibarigaoka.jp

日本甲状腺学会認定専門医施設 上條甲状腺クリニック
院長／上條 桂一
札幌市中央区大通西14丁目3番1号 大通丸一ビル3階 Tel 011-272-6688
https://www.kamijothyroidclinic.com/

市立根室病院
病院事業管理者・院長
川本 雅樹（第45期卒業）
根室市有磯町1丁目2番地 Tel 0153-24-3201

医療法人社団 恵仁会 羊ケ丘病院
理事長・病院長／倉 秀治（昭和61年（1986年）卒業）
札幌市厚別区青葉町3丁目1番10号 Tel 011-351-2211
http://www.hitsujigaoka.com/

社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院
理事長・院長／徳田禎久
札幌市東区北33条東1丁目3-1 Tel 011-712-1131
https://www.teishinkai.jp/thp/index.html

医療法人 双葉会 旭川十条病院
理事長／稲葉憲一
旭川市9条通21丁目2番8号 Tel 0166-35-2111

医療法人社団 豊友会 千歳豊友会病院
理事長・院長／千葉 雄
千歳市富丘1丁目618-6 Tel 0123-24-4191
https://www.foryou-hp.or.jp/

明日花グループ 宮の沢明日佳病院
理事長／小野寺眞悟 院長／丹羽 潤
札幌市西区西町南20丁目3番39号 Tel 011-664-7111
http://www.smn-hp.or.jp/

医療法人 美脳 札幌美しが丘脳神経外科病院 BINOH
理事長／高橋 明 院長／米増保之
札幌市清田区真栄4条5丁目19-19 Tel 011-558-2200
https://sapporo-binoh.or.jp/

社会医療法人 孝仁会 札幌孝仁会記念病院
釧路孝仁会記念病院
理事長／齋藤孝次（第19期卒業）

社会医療法人 北翔会 坂泌尿器科病院
院長／坂 文敏（第20期卒業） 副院長／笹尾 拓己（第41期卒業）
札幌市西区八軒2条西4丁目1-1 Mail info@saka-uro.or.jp
https://saka-uro.or.jp/

社会医療法人 北海道恵愛会 札幌南三条病院 院長 小場 弘之
札幌南一条病院 院長 土田 哲人

医療法人 千樹会 帯広整形外科
理事長／市山 廣樹 院長／桑原 弘樹
帯広市東2条南14丁目1-2 Tel 0155-66-7507